



作文1部

もんぶ かぐ だいじんしょう
文部科学大臣賞

ずっとまもりたいじまんのけしき

香川^{かがわ}県^{けん} 丸亀^{まるがめ}市^し 立郡^{りつぐん}家^け小^{せう}学^{がく}校^{こう} 一^{いっ}年^{ねん}

香川^{かがわ} 葵斗^{あおと}

「まどからみえるけしき、さいこうだね。」

ぼくのいえにある一ばんおおきなまどのむこうには、おじいちゃんがおこめをそだてているたんぼがひろがっています。いえにあそびにきてくれたおきやくさんは、みんなこのけしきをほめてくれます。おじいちゃんがいつしようにけんめいそだてているたんぼがみえるけしきは、ぼくのじまんです。

まどからみえるたんぼのけしきは、どんどんかわっていきます。たうえをするまえにみずをいれたたんぼは、おおきなプールみたいにみえます。みずのなかには、カブトエビやおたまじゃくしがきもちよさそうにおよいでいます。きかいで、つちをたいらにしたら、たうえをします。うえたばかりのなえは、ちいさくてほそいので、たんぼにたくさんすきまがみえます。す

こしずつみどりがふえて、なえのせもたかくなっていきます。たんぼいっぱいひろがったみどりのなえが、かぜにゆらゆらゆれると、とてもきれいです。そして、はながさいて、みができて、おこめになります。いろもみどりから、きんいろにへんしんしていきます。ピントのびていたいねが、おじぎをすると、しゅうかくです。ぼくは、このときのけしきが一ばんすきです。りゆうは、しんまいをもうすぐたべられるとおもうと、わくわくするからです。

まどからは、たんぼではたらいにいるおじいちゃんのがたもよくみえます。あついひもあめのひも、くさぬきをしたり、みずのかんりをしたり、たんぼのおせわをしています。なんかげつもおせわをするのは、たいへんそうです。でも、そのおかげで、あまくておいしいおこめができているのだとおもいます。

ぼくは、このじまんのけしきをずっとまもっていきたいです。ぼくは、まどのそとにでて、おじいちゃんにつたえました。

「ぼくにできるたんぼのてつだいあるかな。」